

緊張緩和と日本の外交

名前 _____

_____ 月 _____ 日

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

日本は近隣の国々との関係をどう築き、石油危機で経済はどう変わったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 緊張緩和と国交の回復

日韓・日中

1 南北ベトナムの戦いにアメリカが介入した戦争。

3 1965年に韓国と国交を正常化した条約。

6 1972年に中国との国交を正常化した声明。

1960年代、アメリカが北ベトナムを爆撃して 1 **ベトナム戦争** が本格化した。多くの民間人が犠牲になり、日本やアメリカ国内でも反戦運動が広がった。アメリカは1973年に軍を引き上げ、1975年に戦争が終わって、翌年南北のベトナムは統一された。1970年代には、米ソの間で緊張緩和の動きも進んだ。

日本は1965年、2 **佐藤栄作** 内閣が韓国と 3 **日韓基本条約** を結んで国交を正常化した。北朝鮮とは国交のないままとなった。1972年、アメリカ大統領の 4 **ニクソン** が中国を訪れて米中が接近する中、首相の 5 **田中角栄** が中国を訪れて 6 **日中共同声明** を発表し、中華人民共和国との国交を正常化した。1978年には 7 **日中平和友好条約** が結ばれた。

ベトナム戦争の間、日本はアメリカ軍に物資を供給し、経済の面では特需を得た。

日韓基本条約
1965年 韓国と国交

日中共同声明
1972年 中国と国交

日中平和友好条約
1978年

2 沖縄返還と石油危機

安定成長

8 核兵器を持たず・作らず・持ちこませずという方針。

11 1973年に原油価格が急に上がり世界が混乱したできごと。

13 高度経済成長のあと続いた、おだやかな成長。

沖縄は戦後、アメリカの統治下に置かれ、ベトナム戦争ではアメリカ軍の基地となった。住民の復帰運動が高まる中、佐藤栄作首相はアメリカと返還の交渉を進め、「核兵器を持たず、作らず、持ちこませず」という 8 **非核三原則** を国の方針として示した。そして1972年、9 **沖縄** は日本に返還された。しかし、広大なアメリカ軍の基地は今も残っている。

1973年、10 **第四次中東戦争** をきっかけに、産油国が石油の値上げや輸出の制限を行い、11 **石油危機** (オイル・ショック) が起きた。原油が値上がりして物価が急に上がり、トイレットペーパーなどを買い求める人が店に殺到した。さらに1974年には戦後はじめて経済成長率がマイナスとなって、12 **高度経済成長** は終わった。その後は省エネルギーや技術開発を進め、13 **安定成長** の時期に入った。

石油危機のあと、日本は省エネルギーの技術を高め、小型で燃費のよい自動車などの輸出を伸ばした。

できた / 13